

児童発達支援保護者からの事業所評価表の集計結果（公表）

（事業所評価実施日）：平成31年12月10日～平成31年1月25日 （公表）：平成31年3月28日

事業所名：児童発達支援センタースイスイなかま

保護者等数（児童数）26名 回収数：12名 割合：46.2%

		チェック項目	はい	どちらともい	いいえ	わからない	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3	0	0	0	・せっかく構造化してあるがひとつのスペースは狭いかなと思う。年長児くらいだとギリギリではと感じます。	構造化による活動プログラムを考慮し配置しておりますが、十分なスペースの確保が取れていないところもあるようです。保護者様のご意見に耳を傾けながらこども療育センター等の助言をいただきながら改善ができることを常に検討して参ります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	1	0		今後も充実した支援の提供が出来る様に適正な配置数を考え、個々の児童に合わせた課題設定ができるように取り組んで参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	4	0	2	0	・まだ通所したばかりで本人にどう伝わっているかわかりません。でも少しずつ慣れて対応できているように感じます。 ・本人にとっては分かるように明示してあると思いますが、保護者の動線としては子供の動きや内容が見えづらいことがあります。建物の構造上仕方ないと思いますが・・・。	常時児童の方へ伝わりやすい方法、理解できる方法を検討しております。今後も保護者の方のご意見に耳を傾けながら共有を図って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	2	0	0	0	・もう少し暑さ、寒さをしのげるとありがたいですけど…。 ・冬は少し寒いのが気になります	・建物が古いこともあり大変ご迷惑をお掛けしております。各種機器で適正な温度管理、湿度管理を整えて参ります。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	0	0	0	0		太田ステージの発達検査等でお子様の発達状況を見ながら、お子様の得意不得意分野を分析します。保護者の方の意見や各職種全職員での意見を元に、支援計画を作成して参ります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	4	0	・まだよくわかりません。	原則、母子通園をおこなっていますので、その都度家庭や保育園等での困り感などを伺いながら、課題設定に取り組んで参ります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	0	0	0		保護者へニーズ確認をおこない、またお子様の現状を確認し、個別支援計画の作成に取り組んで参ります。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	9	1	0	2	0		個々の発達状況に合わせた、活動のプログラムが提供できるよう活動終了後全職員でカンファレンスをおこない情報の共有を図っています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	6	0	・保育園に通っているので関係ないのかなと思います。	他の集団に所属されているお子様がほとんどです。当センターへは多くて週1回のご利用ですので、その中での交流は難しい状況にあります。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0	0		契約時に説明をさせていただいております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	1	0	0	0		個別支援計画は保護者の方の意見を伺いながら作成をさせていただきます。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	8	2	1	1	0	・機会があれば参加したいです。	地域療育センターにて取組実施が検討されています。実施の際はご案内をさせていただきます。また、職員も共に家族支援プログラムがおこなえるように資質向上に努めて参ります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	0	0	0	0		・保護者の方へその日の療育記録表を通し療育への課題等について理解を深めていただけるように、細かく今日のポイントなどの記入をしております。分かりにくい点もあるかもしれませんが不十分で定期的な保護者の方へ実施取組み内容に対する疑問がないかお尋ねして参ります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	0	0	0	・助言やアドバイスはいろいろ頂き今ためしているところです。とても勉強になります。 ・特に時間は設けてないが、療育の合間に助言をもらっている。	・療育活動においてその都度相談を受けたまわっております。担当職員での回答が難しいような場合は、児童発達支援管理責任者と職員で内容の協議を図り専門的な機関等との連携も図りながら助言をおこなって参ります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	4	3	1	・特に改まって「会」は開催されていないが療育中に他の保護者さんと情報交換はできています。 ・参加しないのでわかりません。	週1回の療育と小グループ集団での療育である性格上、父母の会や保護者会同士の連携までは、発展しにくい状況です。しかし、多くの保護者間の交流が図れるような行事を企画できるよう職員間で協議して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	0	0	1	1	・困っていることに対してすぐアドバイスを頂きました。	保護者様からの相談、申し入れに対して関わる職員全員で丁寧な対応に取り組んで参ります。しかし、内容によっては、他の機関等の助言をいただく場合等もございますので迅速な対応ができない場合もございます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2	0	0	1		様々な方法を模索しながら情報交換・情報発信ができるように準備して参ります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	2	0	0	1	・毎回の記録やコメント、お便り等をいただくので分かりやすいです。	今後も充実した内容のお便りの作成に心掛け発信をおこなって参ります。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9	2	0	0	1		全職員で取り組んで参ります。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3	6	0	2	1	・マニュアル訓練などはないが必要なことはお便り等でお知らせしてもらっている。 ・訓練はわかりません。	各種マニュアルについては、事業所内掲示等で周知を図って参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	3	0	6	1		年2回の防火訓練等の実施を計画しておりますが、多機能型事業所ということで児童発達支援、放課後等デイのいずれかに訓練をおこなうことがあり、すべての利用児童に訓練を実施できない場合があります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	0	1	・活動内容によっては、渋ることもあるがほぼ楽しみに通所の日を待ち望んでいる。	全てのお子様を楽しみにしていただけるよう努力して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	11	0	0	0	1	・親として「心の拠り所」的な場所です。満足です。	満足いただけるよう、日々努力して参ります。

*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。